



報 新

か め だ

11/1

No. 126

毎月1日・15日発行

□発行 新潟県亀田町役場

□編集 企画課



写真…日ざしをいっばいうけて秋を描く
(伊夜日子神社境内で)

—とじて保存しましょう—

多彩な催し

「文化・芸能まつり」へどうぞ

赤く熟した柿が目立つこのごろ、秋もいよいよ深まったことを告げています。11月は霜月（しもつき）、季節は晩秋から初冬へと移り、道ゆく人の装いも冬じたくに変わってきます。

3日は「文化の日」です。私たちの町でも、この日を中心にして

「秋の文化・芸能まつり」が盛大に開催されます。公民館会場では菊花、写真、絵画、刀剣など16部門の作品が展示され、町民会館では、ことしから書道、県展入選作品、いけば花。そして「芸能まつり」が3日と7日の2日間、大ホールで開催されますのでぜひお出かけください。

美術の秋ノこどもたちは秋晴れの日、校庭や神社境内で文化祭に出品する作品づくりに一生懸命です。各小学校の児童作品展とバザーは3日です。

- 6頁・所得税第二期分の納税
- 6頁・保健課十一月の予定
- 5頁・くらしの一日教室
- 5頁・文化財調査委員会
- 4頁・第三回婦人体育祭
- 4頁・体力づくり新潟県大会で古泉氏優勝、田辺氏三位
- 3頁・快適な生活は下水道完備から
- 3頁・秋季消防演習小島団長他三十一人表彰
- 2頁・秋の清掃月間
- 2頁・十一月一日～三十日
- 2頁・脳卒中は冬に多い

おもな記事

人口のうごき

世帯数6,029(+12) 51.10.1.現在

区分	人	口	出生	死亡	転入	転出
総数	24,585	(+48)	29	12	95	64
男	11,952	(+21)	14	8	45	30
女	12,633	(+27)	15	4	50	34

()は前月比

きれいな町をめざして

秋の清掃月間 11月1日～30日

きれいで明るい快適な環境……そして、ねずみのいない住みよい町づくりをするために、町と亀田町公衆衛生協会では、十一月一日（月）から三十日（火）までの一カ月間を「秋の清掃運動月間」と決めました。

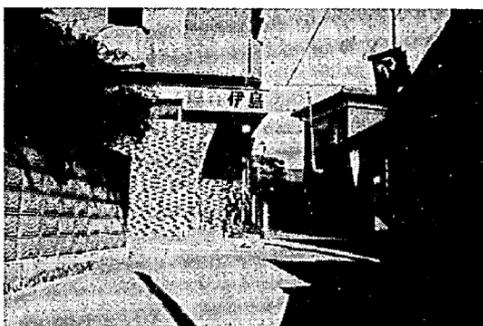
この期間中、晴天の日を選び各地区（全戸）の組織をあげて大掃除に取り組みましょう。

▽下水溝と家のまわりを重点に

・これから木の葉が落ちて下水溝、水路の排水が思うように流れなくなり、泥や落葉を取り除き、道路、公園など公共用地をよごさないように心がけましょう。

・日頃ゆきとどかなかつた場所の清掃と、越冬する「蚊」「はえ」の駆除、とくに便所の周辺や床下などを徹底的に掃除しましょう。

・寒さを迎えますと、とく活動もにぶって家の中が不潔になりがちです。お天気の良い日を選んでふとんを干したり家の



定期的な清掃で下水溝も清潔…向支部

・家をねずみ捕えるのに今は一ばんよい時期です。この期間中を年間の総仕上げとして、一斉にねずみ駆除をしましょう。

・ねずみ駆除は、ねずみに食べ物と住む場所を与えない方法（環境的駆除法）を基本に薬剤と器具を使っています。

・各地区の衛生支部役員を中心に防除班を編成し、実施計画にそって駆除しましょう。

・町から配分される毒餌（エンドロサイド）（トラリン系化合物）を流しの下、戸だなの後、ゴミ入れの附近物置きなど、ねずみが住みついているところに配置してください。

▽大型ねずみ（四百グラム

中を掃除しましょう。
・ゴミは、燃えるものと燃えないものを分けて、決

ねずみ退治の絶好期

駆除月間 十一月十日～十二月九日

ねずみは、ご承知のように赤痢、食中毒、ウイルス性病や、ねずみに寄生するダニなどによって人間に病気を媒介したり、食品、家具衣類などにも被害を与えます。さらに果樹や農作物にも大きな被害を与え、わたしたちの生活環境と健康を大きく阻害します。

以上のようなものを捕殺した上位五人を表彰します。

◇表彰の配置日
十一月十三日（土）

◇配置期間
十一月十五日～十一月二十一日まで

詳しいことは保健課（内線二十七番）へおたずねください。

脳卒中は冬に多い

高血圧は寒さに注意を

わが国の死亡順位のトップを占めている脳卒中は、高血圧との関連が深いことが知られています。

高血圧が長く続いていると、血管壁が厚くなって弾力性が乏しくなり、血液の通りが悪くなる。これが動脈硬化です。

脳卒中とは、脳の動脈が破れて出血したり（脳出血）

（脳の血管が詰まったり）脳梗塞、脳血栓、あるいは脳の動脈のこぶが破れたり（くも膜下出血）して倒れる病気で、これらは高血圧、動脈硬化の上にかのきつかけが加って起こるものです。

高血圧や動脈硬化は脳卒中ばかりでなく、心臓病も引き起こしますので日常生活

脳卒中発作のきっかけは



活に注意し、きつかけが起らないように心がけることが大切です。

高血圧の予防

○いらいらしいこと

○十分な休息と八時間は睡眠を

○坂道や階段はゆっくりと

○酒はゆつくり少量を

○たばこはできるだけ吸わないように

○太り過ぎの人は減食と運動で正常体重に

○標準体重は身長から105を引いたもの

○塩分は少なめに

○寒さに備えて

○これからの寒さには、次のことに注意しましょう

○部屋全体を暖かく、冬でも10℃以上

○急な温度の変化を防ぐ

○暖かい所から急に寒さにさらされると血圧はあがり、夜中のトイレに起きるときは暖かくして風呂はぬるめに

○風呂の温度40～42℃お風呂は十分開く

○脱衣場はストロブで暖かく、湯殿は十分湯気をたててから入りましょう

○便秘に注意

○野菜、くだものを多く食べましょう

○一日一回排便の習慣を健康ともしっかり受けましょう



あぶない！

線路への置石

最近、こどもによる線路への置石や、こどもの線路付近での遊びが目立って増えています。

このような置き石や線路への立入りは、一歩間違えば列車の脱線、転覆などの大惨事となります。

家庭や地域においては、食事時などの家族団らんの機会や一歩かけ運動によりこどもによる線路への置石をなくす、線路付近でこどもを遊ばせないことを徹底し、大家の足である列車運行に協力しましょう。



踏切事故をなくそう

農業講演会のお知らせ

農業に一生をかける農業者が一同に集り、これからの農業の意欲と創造性を高めるため、第一回亀田町農業後継者中央会議が町民会館で開催されます。

後継者のみなさんは勿論一般の方々もご参加ください。

とき：十一月七日（日）午後一時三十分から

ところ：亀田町町民会館視聴覚室

演題：農業金融面から見た農業のありかた

講師：農林中金新潟支所 桜木 勇人氏

一死傷を最少限にいとめるシートベルトの着用を！

二百台のうち六人

「秋の全国交通安全運動」の一環として、九月二十四日、午前十時から十一時までの一時間亀田バイパス曙町一丁目地内において、亀田警察署、亀田町交通指導員十人、福島方面に向かう車輻（大型トラックを除く）を止め、「シートベルトの着用」指導と事故を起こさないよう、とステッカーを配りました。

当日は、二百台余りの車輻のうちシートベルトを着用していた人は、わずか六人（三％）でした。それだけ交通指導員から、「シートベルトの着用は義務づけられているので、自分の生命を守るためぜひ着用してください」といわれるとほとんどの人が着用して目的の地に向って行きました。

シートベルトは死傷を最少限度に守ってくれる装置です。車に乗るときは必ず着用しましょう。

11月の交通指導隊目標

- ◇自転車の指導 無灯火・2人乗り（後部）・かささし
- ◇歩行者の交通確保 老人と子どもの交通確保

下水道シリーズ

③

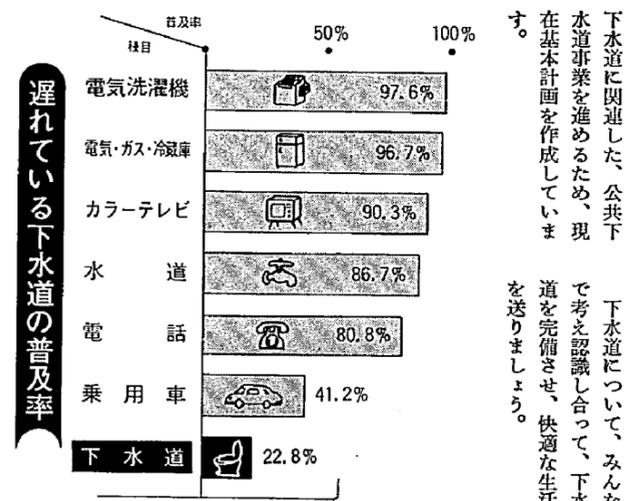
快適な生活は下水道完備から

私たちの生活に「水」は欠かせません。しかし、水はいったん使われると「汚水」となって排出されます。この汚水がそのまま川や海に流れこむと、そこは汚水で濁り魚も住めなくなってしまうのです。

下水道は、こんな汚水や水害のもととなる雨水を集めて、処理する施設です。遅れている下水道の普及率

が、日本ではあまり普及していないのが実情です。下のグラフを見て下さい。電気洗濯機、冷蔵庫、カラーテレビなどの耐久消費財の普及率に比べて下水道の普及率は、わずか二・八割しかありません。

下水道普及率を国際比較しますと、英国九四％、米七九％、スイス四九％が上位を占めています。日常生活の中で下水道に対する私たち一人ひとりの認識が



下水道に関連した、公共下水道事業を進めるため、現在基本計画を作成しています。

下水道について、みんなで考え認識を合せて、下水道を完備させ、快適な生活を送りましょう。

秋季消防演習 模範演技に盛んな拍手

小島団長他三十一人表彰

快晴に恵まれた十月十七日、亀田町消防団秋季演習が、消防団員一九七人をはじめ来賓多数を迎えて亀田中学校グラウンドで盛大に開催されました。

当日は、午前八時三十分町民会館前の亀田排水路で一斉放水訓練をした後、会場を亀田グラウンドに移し、小島消防団長の開会宣言、宮腰町長が各小隊ごとに姿勢、服装の点検を行った後ポンプ操法に入り、ことし

第8分団のポンプ操法



の春、泉消防ポンプ操法大会に参加した第八分団（下早通）と、消防署員がキビしくした動作で模範演技を披露し盛んな拍手をあげました。

また、日本消防協会等からの表彰状の伝達式も行われ、小島休平氏他三十一人の方々に表彰。分列行進、米資の祝辞をいただいた後、午演習を終りました。

表彰を受けた人は次のとおりです。

（敬称略）

☆日本消防協会表彰
・功績章 小島 休平 消防団長
・精進章 立川 又一 第二分団長

- ・勲章章 松島 一男 第一分団員
 - ・功績章 乙川 一海
 - ・功績章 村山 良夫
 - ・功績章（永年勲章） 佐藤 源一
 - 三十年 松島 一男
 - 二十年 今泉 敏雄
 - 十年 阿部 儀博
 - 石塚 勝榮
 - 上村四二郎
 - 松野 信男
 - 小亦 昇
 - 今井 正
 - 片山利一郎
 - 後藤 兄夫
 - 村山 栄松
- ☆地区支会長表彰
村山 栄松
- ☆町長表彰（勲功章）
十五年 佐藤 勝
- ☆町長表彰（勲功章）
十五年 佐藤 勝
- ☆防火協会長表彰
枝並 トミ（庄平妻）
勲二十五年以上の団員の夫人に対して、内助の功をたたえ感謝状を贈呈

太陽の下で 奮斗するお母さん

第3回婦人体育祭

さる十月十七日、第三回婦人体育祭が亀田小学校グラウンドで行われました。この大会はふだん家庭にこもりがちなお母さん方が太陽の下で精いっぱい体を動かして、楽しい一日を過ごすという一昨年から始められたものです。

朝から運動着姿の若々しいお母さん方が、三々五々集って来ました。午前九時三十分、いよいよ入場行進です。ガールスカウト旗隊を先頭に、約五百名の婦人の晴がましい顔々、東小母の会の小池元子さんの開会のあいさつと同時に約三十羽の鳩が一度に飛び立ち、前年度優勝の早小母の会、笠井久美子さんの力強い選手宣誓により競技は開始されました。この大会の運営は、全て女性の手に行われました。お母さん方、対抗レースは自分の意のままにならず、べそかいているお母さん！何とも楽しいかぎりです。ことし初参加の他田中学校母の会チームが、みごと優勝しました。

優勝 亀田母の会
二位 婦人大学
三位 東小母の会
四位 町婦人会、農協婦人部、亀小母の会、早小母の会
応援賞 婦人大学



体育祭のハイライト
ヨイシヨノヨイシヨノと力いっぱい綱を引く

「政治の動向」で学習

B・S・N報道部長・高沢氏

秋も深まり、色づいた樹々は眩しい冬への準備に、落葉もしきりとなつていまい。

六十歳から八十四歳までの福寿大学生、二百四十八人は、学習意欲と仲間との出会いに張り合いをもって毎日出席しています。

近々、解散、総選挙が予測されている政治の動きに福寿大学も応えて「政治に関心」をもっていたりたくため、授業を計画しました。

(第九回授業)
とき：十一月十八日(木)
午前十時～正午
ところ：公民館大ホール
テーマ：「政治の動向」

講師：B・S・N報道部長 高沢正樹氏

中蒲老人スポーツ大会
町老連輝く三連勝
老人の健康保持と生きがい高めるため、中蒲原郡老人クラブ連合会主催による、第四回スポーツ大会が十月十三日、横越小学校体育館で開催され、亀田町老人クラブ連合会が全種目一位という輝かしい成績を納め三年連続優勝のトロフィーを獲得しました。

当日の参加選手は、亀田チームをはじめ村松、小須戸、横越および村松桜花寮

11月の公民館クラブ活動のお知らせ

- ◎書道講座…12月19日26日(各金曜) 午後7時～9時
 - ◎ダンス講習会…16日(火)23日(火)27日(土)30日(火) 午後7時～9時
 - ◎卓球教室…8日15日22日29日(各月曜) 午前10時～正午
 - ◎民謡クラブ…10日(水)19日(金)24日(水)30日(火) 午前10時～正午
 - ◎謡曲教室…13日20日27日(各土曜) 午後1時～4時
 - ◎書道教室…12月26日(各金曜) 午前10時～正午
 - ◎茶の湯教室…15日29日(各月曜) 午前10時～午後4時
 - ◎紙人形教室…17日(水)24日(水) 午前9時～正午
 - ◎絵画教室…18日(木)25日(木) 午前10時～午後1時
 - ◎短歌教室…14日(日) 午後1時～4時
- (休館日) 11月2日～5日までは文化祭のため部屋の貸出しと図書の出しを休みます。14日、21日、23日は休館日です。



十月十日の「体育の日」は全国各地で、スポーツ行事が行われました。新潟県もこの日に上越市で、第九回体力づくり県中大会、県民体力づくり県中大会が開催され、亀田町を代表して、古泉正三氏(城山・写真)が満六十歳以上五キロメートルロードレースに優勝。田辺正氏(袋津)が満五十歳以上に参加され三位に入賞。両選手とも優秀な成績を収めて帰町されました。

両選手に伺って
みますと
(古泉氏)：天候が悪い中でレースとなり大変走りにくく、コンディションもあまりよくなかったのですが、最後までがんばったおかげで優勝でき、こんな嬉しいことはありません。これからも一層練習に励み、町のためにもがんばりたいと思います。

(田辺氏)：きついレースでしたが、日頃の練習の成果が実を結び、三位に入賞できました。嬉しいですね。これからも更に努力し、来年は優勝をめざしてがんばりたいと思います。みなさんのご声援に感謝します。

古泉氏優勝、田辺氏三位

体力づくり新潟県大会で

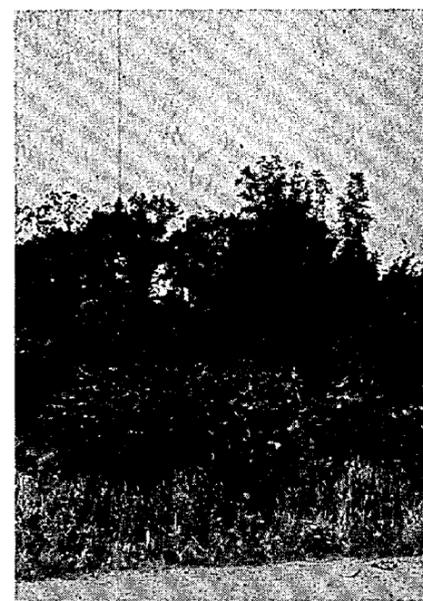
亀田町史の残るもの

三、編文時代から人間生活が始まった。亀田町の遺跡については砂崩遺跡の発見以後、誰も調査することもなく捨て去られて、特に都市化の波に流されたことから、その破壊も驚くべきものでありましたが、昭和十九年頃から酒井和男さんを中心に数人の人達でグループをつくり、わが郷土の先人の歩みを如実に語って

くれる遺跡を、誰も調査することもなく捨てておいてよいものかと、調査をはじめました。郷内を走る砂丘のうち、最も重要な遺跡が存在すると思われる、新津丘陵に最も近い第一線砂丘の前列にある茅野山、日本、城山、袋津、砂崩と第一線後列にある船戸山、高山、稲葉を調査地域として、数年間にわたり数十回の表面採集やボーリングによって遺跡の調査を実施してきましたが、この結果数多くの遺跡群を発見したのであります。これらの報告書は先にこの紙上にのせていただきました。

したが、歴史の歩みを語る関係上、その重要なところについてふれてみたいと思います。砂崩の遺跡については前に述べましたが、その後、昭和四十年頃、風間精一さん宅の前にある畑から、型がほぼ完全に整った深鉢型の縄文土器が発見されました。この土器は底部が抜かれていて、直立した型のまま出てきました。このような型で発見されたのは珍しいといわれ、ほかの遺跡ではこの中から幼児の骨が発見された例がありませんので、これも幼児を埋葬するのに使われたのではないかと考えられます。次に阿部山松さん宅前の畑から土偶が発見されています。この土偶は手と足と首の部分が欠けているものの長さ七センチ、横五センチの板状のもので表面の胸部に二つの小凸部があり、前住民族の傑作の一つであります。

酒井和男さんの説によると、城山遺跡が亀田町の遺跡の中で一番古いといわれています。城山遺跡からは砂崩遺跡より少し前の今から五千年前位といわれる縄文前期の土器が発見されています。この遺跡は舟助山の南面にある、石本順策、石本休松両氏の宅地内の畑に分布しています。ここから出土する土器の型は円筒形で、文様は縄をよって付けた燃系文と呼ばれるもの



亀田排水路から望む 日水栄徳寺遺跡

くらしの一日教室

県消費生活センターでは「くらしの一日教室」を開催します。どなたでも受講できます。

◇時間…10時～正午まで
◇会場…新潟市万代町1 パスセンター4階
◇受講希望者は、役場産業課へお申込みください。
TEL 856 2111 内線41番

くらしの1日教室日程表

月日	テーマ	講師
11月9日(火)	やさしい民法の話 知っておきたい権利と義務	岩野正 岩野正 岩野正 岩野正
12月14日(火)	木造家屋の手入れのポイント 手入れの仕方と家が長持ち	山田伝 山田伝 山田伝 山田伝
1月25日(火)	肥満の話 成人病予防の 知識(摂取カロリーと運動量)	佐藤幸示 佐藤幸示 佐藤幸示 佐藤幸示
2月16日(水)	低カロリーの食事生活 と肥満(なぜふとるのか?) (エフオンをお持ち下さい)	岩城良子 岩城良子 岩城良子 岩城良子
3月15日(火)	せいの知識 染色加工の原因をさぐる	岩城良子 岩城良子 岩城良子 岩城良子

以上述べましたように亀田町の第一線前列の砂丘線には多くの遺跡がありここからは縄文時代の土器が出土しています。このことは、縄文時代に前住民族がこの地に生活の拠点を持ち、相当期間この地域に人間生活を営んだことを物語るものであります。

(高橋真知)

短歌

「平野の光」から
関本 清美
槌音のこだまを返し中天に
棟組む大工等波陽を浴びて

伊藤 はな
秋深き夜を鳴き止まずこお
ろぎの悲恋のなげきかしみ
じみと聞く

土屋 スイ
師と仰ぐ友より寄贈の萬秋
の陽あびて日毎に赤らむ

富樫 金井
死ぬもよし生くるも嬉し
日を珠玉と思ふわが残年

風 三夫
常潮となり居る田の面境界
となして真珠を刈り残し置

電気用品安全マーク

電気用品の安全マークは「電気用品取締法」にもとづいて、すべての電気用品につけられています。通産省が定めた安全基準に合格したことを示しています。

マークは、危険の度合により、三角形(甲種)と丸形(乙種)の二通りがあります。三角形マークがつけられるのは、構造や使用からみて、とくに事故が発生する恐れのあるテレビ、ストーブ、こたつ、アイロン、洗たく機、毛布、カメラなど三百二十五品目です。

丸形がつけられるのは、構造が簡単で危険の少ないラジオ、ステレオ、照明器具など八十九品目です。

このマークは、電気用品の見やすいところにラベルや印刷、刻印などでつけ、製造業者名や定格(ワットやアンペア数)を置くことが義務づけられています。大きさは色についてはさまざまありません。

(乙種) (甲種)

